

Ⅲ 砂糖類の情報関係業務及び砂糖に関する調査

1 砂糖類の情報関係業務

(1) 定期情報収集整理

国内外の文献、業界関連資料、各種研究会報告書、貿易関係統計資料等の各種情報を収集・整理するとともに、関係図書、データ類を購入し、砂糖及び加糖調製品の通関統計を分かりやすく集計し、関係者等に提供した。

(2) 砂糖の流通調査

砂糖の月別・地域別販売量、需要動向、小売価格の実態を把握するため、四半期ごとの①砂糖の販売量調査(33店)、②砂糖の需要動向調査(78店)のほか、毎月、③砂糖の販売価格調査(157店)を実施した。

(3) 甘味料需要実態調査

ユーザーにおける甘味料の需要実態調査を、民間調査会社に委託して実施した。調査対象業界(菓子、清涼飲料、乳製品(デザート)、パン、調味料類、漬物、佃煮・煮豆、水産練製品・珍味)は18年度調査と同様。調査対象品目は18年度までの加糖調製品に砂糖、代替甘味料、異性化糖を加え、調査内容を需要動向に絞って実施した。

(4) 機構職員による国内現地調査

国内各地域における砂糖の原料作物の生産状況等の現地調査を実施した。

(5) 機構職員による海外現地調査

全米砂糖連盟(ASA)主催の国際甘味料シンポジウム出席および現地調査やEU現地調査(EUの砂糖制度改革の影響、バイオ燃料、でん粉制度等)を取りまとめた。

(6) 海外コンサルタントの活用

① LMC(英国)

世界の砂糖需給動向、各国の砂糖需給動向、甘味資源作物収穫面積、甘味資源作物生産量、砂糖生産量、砂糖消費量、主要国の生産、制度の動向、世界の都市別砂糖価格に関する調査をLMCに委託し、月別、四半期別、年度別に取りまとめた。

海外の主要な砂糖類の生産国及び消費国に関する概況に関する調査をLMCに委託し、19年度はロシア、インドネシア、ベトナムにおける砂糖産業の現状、砂糖関連政策等について収集・提供した。

② FNP(ブラジル)

ブラジルのさとうきび・大豆・とうもろこし等の地域別生産状況、砂糖・エタノール・ガソリンの州別市場等の価格、さとうきび・砂糖・エタノール事情に関する調査をFNPに委託し、四半期別に取りまとめた。

(7) 「砂糖類情報」の発行

国内及び海外の砂糖類に関する情報及び機構が行った調査の結果等について、関係業界、消費者等に広く提供するため、「砂糖類情報」として毎月950部を発行した。

(8) インターネット・ホームページによる砂糖類情報の提供

情報収集事業等において収集・整理した砂糖類に関する国内外の情報や各種調査結果等を広く提供するとともに、消費者コーナーを活用し、消費者の砂糖類への理

解を促進した。

(9) 砂糖類情報検討委員会

農畜産業の動向、情報利用者等のニーズを的確に把握し、情報収集提供業務の改善に資するため、専門家、情報利用者、消費者等幅広い分野の参画を得た情報検討委員会を設置し、意見を聴取した。

(10) 地域情報交換会

各地方事務所主催により、地域における甘味資源作物生産農家、糖業関係者及び行政等の幅広い分野の関係者を参集し、甘味資源作物生産性向上への課題等を浮き彫りにして関係者間の共通認識を醸成すること等を目的として、情報交換会を実施した。

(11) さとうきび・甘蔗糖関係検討会

さとうきび生産・製糖に関する諸課題について、鹿児島、沖縄両県の関係者が共通認識を持つとともに、諸課題の解決のための現場における具体的方策を検討するため、国、両県関係者、大学関係者等、産官学を通じた幅広い関係者による検討会を実施し、両県の現場レベルの取組状況の報告とそれに基づく意見交換を通じて、両県のさとうきび増産と担い手育成について共通認識の醸成等を図った。

(12) 専門調査員調査

砂糖及び甘味資源作物の生産及び流通について、専門的かつ客観的に分析を加えて関係者に提供するため、外部の学識経験者による専門調査員を設置し、専門調査員による現地調査を実施した。

2 輸入粗糖に関する調査

機構業務の適正な運営及び製糖業界の健全な発展に資するための基礎資料を得ることを目的として、以下の調査を行った。

(1) 輸入粗糖在庫（I S）状況調査

精製糖業者及び商社等の協力を得て、月毎に倉庫承認（I S）を得た数量、直輸入申告数量（I C）及び溶糖するため売買契約した数量から総合的に粗糖の在庫状況の調査を行った。

(2) 輸入粗糖価格（C I F）調査

所轄管内におけるすべての申込者の協力を得て、月毎の引取済（輸入許可等済）輸入粗糖についての原産地別数量及び輸入価格（C I F）並びに単価の調査を行った。

(3) 溶糖量調査

精製糖業者等の協力を得て、月毎に粗糖の売買契約したものの中から引き取られた数量及び引き取られた数量の中から溶糖に回された数量の調査を行った。

3 砂糖の流通調査

砂糖の月別・地域別販売量の動向及び全国の小売価格の動向並びに当該年度において必要とする事項の実態を把握することを目的として以下の調査を行った。

(1) 販売量調査

地域別の砂糖の販売量を砂糖の全国代理店会の協力を得て調査した。

ア 調査対象店舗は、砂糖の販売に関する代理店契約をしている者（以下「代理店」）

とした。

イ 調査事項は、月別ごとの精糖、ビート糖及び液糖（実量）の地域別販売量とし、当月限の現物で特約店・実需等流通下部段階に販売された数量とした。

ウ 地区区分は、北海道・東北・関東・甲信越（山梨、長野、新潟県）・北陸（石川、富山、福井県）・東海（静岡、岐阜、愛知、三重県）・近畿・中国（山口県を除く）・四国・九州（山口県を含む）及び沖縄県である。

（２）需要動向調査

地域別の砂糖の需要動向を全国砂糖特約店協同組合連合会の協力を得て調査した。

ア 調査対象店舗は、砂糖の特約店とした。

イ 調査事項は、月別ごとの精糖、ビート糖、液糖、異性化糖、ソルビトール調製品及びその他の加糖調製品の地域別販売数量及び販売先別需要動向等とした。

ウ 砂糖特約店の販売状況等、必要事項を調査した。

（３）販売価格調査

全国の小売店（スーパー、コンビニエンスストア、生活協同組合）157 店舗のPOS 情報を利用して、砂糖の各月ごとの業態別・糖種別・地域別の販売価格、特売価格を調査した。